



**長尾
まさひろ**
津堂1丁目2-21
Tel. 090-4276-6317



**木下
ほこる**
古室3丁目22-16
Tel. 080-5326-2092



市民の命と暮らしを最優先に守る市政を

令和6年3月末で
藤井寺市民病院が
廃院へ!?



市は令和4年度に「藤井寺市民病院あり方検討委員会」を設置し、今後の経営のあり方は廃院も含めてゼロベースで検討するとしていました。当初、岡田市長は今年の秋口頃に、藤井寺市民病院の今後の方向性を示すとしていましたが、市民病院の経営悪化を理由に予定を大きく前倒しし、6月議会の最終日(7月11日)に「藤井寺市民病院は令和6年3月末日をもって廃院することとする」という基本方針(案)を示しました。多くの住民にとって、今回の基本方針(案)で示された内容はまさに寝耳に水です。市は今年の8月9日、11日に市民総合体育館心技館・道明寺会館・パープルホール中ホールで

市民の命と健康を守るため公的責任を果たせ

藤井寺市民病院は、98床の急性期病院として地域に根ざした、かかりつけ医として地域医療に貢献してきました。新型コロナウイルス感染症対応では、日々の診療に加え発熱外来や、新型コロナウイルス患者の受け入れなどを行ってきました。また、災害が起きた際には「災害拠点病院」として重要な役割を担っています。

(詳細は市の8月広報に掲載)市民説明会を開催するとしています。この間、市民病院の存続や充実を求める声が市にFAXで328枚も届いています(R5年7月25日時点)。存続を求める住民の声を無視したまま、藤井寺市民病院廃院の方針を決めることは許されません。また、藤井寺市民病院がもし廃院ともなれば現在、担っている医療体制や災害拠点病院としての役割はどこが担うのか、現在通われている利用者の方の引き継ぎ先はどうかなど様々な問題が噴出します。

しかし、これらの対応は、これから他の医療機関と交渉するとのことで不透明です。さらに、現在、従事されている92名の病院職員の皆さんの今後の処遇についても何も示されていません。これまで市民病院が担ってきた役割が果たせなくなると、地域医療の後退に繋がります。

日本共産党は令和6年度3月末の藤井寺市民病院廃院ありきの基本方針(案)の撤回を求めるとともに、市民病院は存続させ、産科の創設や休日・夜間診療の実施、救急医療の受け入れの充実などを求めています。



子育て支援の充実に向け全力!

▶小中学校給食費2学期無償化! 今度は給食費の完全無償化の実施を

物価高騰に対する子育て世帯の負担軽減として、2学期(令和5年9月~12月)の間、小中学校の給食費が無償化となります。

しかし、物価高騰は12月以降も続くことが予想される中、全国的には学校給食費の完全無償化に踏み出す自治体が広がっています。日本共産党は小中学校給食費の完全無償化を目指し、まずは中学校からでも完全無償化を市独自で実施すべきだと要望しました。

大阪府下の学校給食無償化実施状況 (2023年7月時点)

小中学校ともに無償化
能勢町・高槻市・千早赤阪村・田尻町・大阪市
中学校のみ無償化
東大阪市、交野市

▶保育料の多子世帯減免制度 年齢区分の撤廃を市長が 検討すると答弁!

日本共産党が以前より求めていた、兄弟が2人以上いる多子世帯の保育料減免制度の年齢区分の撤廃について、市長は6月議会の一般質問において、具体的な制度設計等はこれからのだが、子育て世帯の負担軽減のために検討していくと答弁しました。実現すれば、2人以上の子どもがいる家庭の0~2歳の保育料の負担軽減の対象者が広がることとなります。何度も議会で粘り強く求めてきたことが実現に向け動き出しました!



▶公立保育所の拡充で待機児童の解消を

本市の待機児童は令和5年4月時点で申込者のうち保育所等に入所できなかった人数は0歳児17人、1歳児26人、2歳児14人、3歳児8人の合計65人です。令和4年度の同時期の待機児童は48人であり増えています。市が責任を持って、公立保育所の拡充で待機児童の解消を図るべきです。日本共産党は、道明寺地域(市の南東地域)への公立保育所の受け皿の確保を強く要望しました。また、公立幼稚園の3歳児保育の早期実施も併せて求めました。

誰もがどこからでも安心して利用できる公共交通へ

市が検討している公共交通案



- 市内東側で地域を限定しての運行
- デマンド型タクシーもしくはコミュニティバスどちらかの運行
- 運行エリア外の地域の声は、新たな交通導入後に実態調査等をして聞いていきたいと考えている

市が検討している運行パターンのメリット・デメリット

	デマンド型タクシー	コミュニティバス
メリット	狭い道でも走行ができる 多目的に利用できる	たくさんの方が乗れる 多目的に利用できる
デメリット	予約制で乗り合い乗車 定員超過により、使いたい時間 に乗り合わせできない	狭い道の走行ができない



長尾まさひろ議員は、デマンド型タクシーとコミュニティバスを同時に走らせることで双方のデメリットを補うことができることを指摘し、2つの運行パターンは併用して検討すべきだと求めました。

日本共産党の提案!

- ▶ 運行地域は限定せずに、市全域に利用できるように!
- ▶ 今の公共施設循環バスを多目的利用できるように、コミュニティバスと位置づけを変えて走らせ、バスが通れない狭い道や地域にデマンド型タクシーを走らせる2つの案を同時に検討すべきです。

重要ポイント!

- 運行エリアを限定してしまうと、エリア外の交通弱者の方が運行エリアまで歩いて行かなければならない。
- 今後、高齢化が進む中で、運転免許証を返納した方や交通手段を持っていない方、移動に不安を抱える方が市域全体で増えていくことが考えられる。そうした方のニーズに応えてこそ公共交通の充実になります。



乗り物を所有していない75歳以上の割合 …… 24.9%
 外出時における移動の満足度（歩行可能な距離の状況別）
 長い距離を歩くのがつらい方で不満の回答 …… 18%
 歩行が困難な方で不満の回答 …… 37.5%

〈令和3年度に市が実施した公共交通に関する住民アンケート調査〉

利用促進にも繋がる 高齢者のお出かけ支援としてバス・タクシーの割引チケットの発行を

公共交通の利用促進策として、またフレイル予防や高齢者のお出かけ支援として、バス・タクシーの割引チケットの検討を、公共交通充実の検討と併行して考えていくべきだと求めました。

市からは、交通マップの作成や運賃割引制度など、公共交通の検討と併行して進めていきたいと前向きな回答がありました。

長尾まさひろ議員は他市で実施されているお出かけ支援策も紹介し、市独自の高齢者のお出かけ支援策として、バス・タクシーの割引チケットの発行を強く要望しました。

＜他の自治体のお出かけ支援策＞



大阪府河内長野市	和歌山県橋本市
75歳以上の方を対象に タクシー割引チケットを配布。 また妊産婦さんへの通院・検診・ 入退院時に利用したタクシー利 用料金の助成を行っている	コミュニティバスとデマンド型タクシーの 2つを運行 コミュニティバス・路線バスからデマンド 型タクシーの相互間の乗り換えする時に、 乗り継ぎ割引チケットや運賃減免を実施

アイセルシュラ ホールの内装工事 に2億円も!?

令和5年度補正予算(第5号)について、日本共産党は反対しました

今回の補正予算の中に、2025年の大阪関西万博の開幕に合わせ、アイセルシュラホールの内装をリニューアルし観光拠点化するために係る設計業務委託料が計上されていました。議案を審議する委員会での木下ほこる議員の質疑で内装工事費用が概算で約2億円掛かることが分かりました。加えて、多額の税金を投入してリニューアルを行う大きな事業になるにもかかわらず、観光拠点化した場合の経済効果をどのくらい見込んでいるかや、施設の維持保全などに伴う後年度負担も考慮して本市に与え得る長期的な財政シミュレーションなど示すものが何も無いことが、明らかになりました。何の見通しも無く、2億円もの大きな事業を、とにかく2025年の大阪関西万博開幕に合わせてリニューアルオープンしたいという思いだけが前に出ている見切り発車だと言わざるを得ません。

今後、本市は図書館や体育館の耐震化が控えており、市民病院問題では地域の医療をどう守っていくのかなど重要な課題の解決が求められています。例えば、本市の中学校の給食を恒久的に無償化した場合に必要な予算は、概算で約7610万円で実施できます。シュラホールの内装工事に約2億円使うお金があるのであれば、中学校給食の無償化を2年程度実施も十分に可能です。

日本共産党は、優先順位を考えると今、アイセルシュラホールの内装をリニューアルするより、住民の命や暮らしに関わることを充実させていく方が優先度は高いと考え、本事業については一旦立ち止まり、市として果たさなければいけない課題の解決に注力すべきだと指摘し反対しました。



集中豪雨等による道路冠水対策を早急に

6月2日の大雨により、市内各所において道路冠水が発生しました。そのうちの一か所である国府3丁目地域（通称：ネコ坂）は過去にも大雨の際に被害が発生していました。

木下ほこる議員は道路冠水時に現地へ赴いた際の状況も伝え、早急な対策を求めました。市は、当該地域の道路冠水の状況把握と調査を行い、道路側溝等の雨水を排水できるような対策について検討を進めていくと前向きな答弁を行いました。



意見書の採択状況

賛成:○ 反対:× 文言修正を求めた場合:△	日本共産党	改革ふじいでら	公明党	維新の会	政新クラブ
全国一律の子ども医療費の無料・助成制度の早期創設を求める意見書(案)	提出	○	×	△	○
2024年秋の保険証廃止は中止し、仕組みのあり方を全面的に見直すことを求める意見書(案)	提出	×	×	×	×
立法根拠が崩れている改定入国管理法の廃案を求める意見書(案)	提出	×	×	×	×
原子力発電の運転期間の延長、増設の中止を求める意見書(案)	提出	×	×	×	×